

国民の皆様

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に被災された住民の皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。

一刻も早い復興への槌音が聞こえ始めることを祈念し、私たちも公私を通じて協力できることを全力でやっていくつもりです。しかしながら現在緊急に必要とされる物資の補給や避難場所の確保などについて私たちが直接に関与できることは限られており、もどかしさを感じますが、被災された大学の研究室・学校等の今後の復旧に対して出来る限りの支援を行っていく所存であります。

また、被災されたほとんどの研究者の皆様におかれましては、研究室の状況をお知らせ頂いて参りましたが、今後の復興に向けての対策を私たちも文部科学省と協力して進めて参ります。

当面、私たちの早急な努力として災害に関連する基本的な科学技術に関わる情報の提供が求められます。すでに断片的な形ではこのような情報は発信されておりましたが、まとまった形の国民向けの情報提供の充実が必要とされています。データベースサービス、サイエンスポータル、サイエンスコミュニケーション活動などにおいても災害に関連する情報提供の充実への努力がなされ始めたところですが、さらに集約・深化に務め、関心のある国民の皆様方への有用情報とできるよう努力したいと考えます。

さらに今後において、災害に強い社会・国家作りに対して有用な知見を生み出し、議論できる場を設定できるよう力を入れていきたいと考えています。

一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

理事長 北澤 宏一